学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ						
副教材等	最新ペン習字教範 61						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校の国語科書写の授業で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具・用材の違いのよる表現の違いを学びましょう。
・漢字の書には五書体あり、さらに様々な用筆・運筆、字形があることを学び、個性豊かに表現できるようになることを目指します。
・仮名の書の学習を通して、仮名の成立と種類、字源を学び、美しい文字を書くことを目指します。
・漢字仮名交じりの書の学習を通し、身近な題材を書の作品にすることで悦びを味わい、書を身近に感じ、日常生活に生かせるようになることを目指します。

2　学習の到達目標

⑴古典の書の学習を通して用筆・運筆、字形の構成などに多様性があることを幅広く理解するとともに、字形の構成を考えて書写能力の向上を図る。また、書の伝統に基づき、効果的に表現するための用筆・運筆、字形の構成などの基礎的な技能を身に付けるようにする。
⑵古典の書のよさや美しさを感受し、創作活動に生かして表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化にふれることでその価値や意味を考えて、書のよさや美しさを味わい捉えたりすることができるようにする。
⑶主体的に書の幅広い活動に取り組み、書を愛好する心を育むとともに、感性を豊かにし、書の伝統と文化に親しみ、書を通して生活や社会のなかで自己表現することの大切さを感じ取る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字・仮名・漢字仮名交じりの書において、用筆・運筆や形式、構成の多様性について幅広い活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な基礎的な技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて書体・書風を創造的に構想し、個性豊かに用筆・運筆・構成を工夫したり、古典の書を通して書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	漢字・仮名・漢字仮名交じりの書における伝統と文化に関心をもち、主体的に表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ	・書写で学習したこと ・書道で学習すること	a:・書写での基本的な用筆・運筆や字形、構成を理解し、姿勢や執筆法の基本を身に付け、表している。 ・書写と書道の相違点・類似点を理解している。 c:小・中学校の国語科書写で学習した内容、芸術科書道の学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品		ワークシート 授業観察
	漢字の書	漢字の変遷とさまざまな書体	a:日本及び中国の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、五書体の字形や線質の特徴について理解している。 b:五書体それぞれのよさや美しさを味わい、捉えている。 c:漢字の書体の変遷やその背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に幅広い鑑賞の活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 授業観察

		文字の造形を学ぶ(楷書) 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 ・孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 ・九成宮醴泉銘の鑑賞と臨書 ・雁塔聖教序の鑑賞と臨書 ・顧氏家廟碑の鑑賞と臨書	a:・楷書の古典の基本的な用筆・運筆や古典の線質、字形や構成を理解し、作品の意図に応じた表現技法を身に付け、表している。 ・楷書の古典の用筆・運筆、字形、構成の特徴を捉え、表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b:・楷書の古典における用筆・運筆、字形の構成から表現効果を考察し、楷書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・古典と臨書とを比較し、表現できている点と改善すべき点について多面的・多角的に考察している。 c:楷書の美と各古典の表現技法について関心をもち、臨書や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 古典観察シート 作品	古典観察シート 作品 鑑賞シート	振り返りシート 作品 授業観察
		楷書の古典を生かした創作 ・草稿作成 ・作品制作 作品の鑑賞会	a:作品の意図に基づいた用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解し、用筆・運筆、構成等を明確に表現するための技能を身に付け、表している。 b:・これまで学習してきた楷書の古典のもつ特徴を生かし、作品の意図に即した表現ができるよう構想し、創作活動へ生かすよう工夫している。 ・互いの作品を鑑賞し、そのよさを豊かな発想を持って味わっている。 c:楷書の美の関心をもち、作品の意図に沿った表現技法を用い、意欲的に取り組もうとしている。	作品	草稿 作品 鑑賞シート	作品 鑑賞シート 振り返りシート

2学期	漢字の書(行書)	文字の造形を学ぶ(行書) ・蘭亭序の鑑賞と臨書 ・争座位文稿の鑑賞と臨書 ・風信帖の鑑賞と臨書	a:行書の成立過程や性質を踏まえたうえで、点画の丸み・連続・省略などの用筆や運筆、筆脈を身に付け、全体の調和を構想し、表している。 ・各古典の点画、用筆・運筆、字形・全体の構成の特徴を捉え、表現効果や風趣、時代背景との関わりについて理解している。 b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形・全体の構成から表現効果を考察し、行書の美しさを感受し、意図に基づいた表現を工夫している。 ・行書の各古典と臨書とを比較し、表現できている点と改善すべき点について多面的・多角的に考察している。 c:行書特有の字形や線質の特徴について関心をもち、臨書や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート古典観察シート 作品	古典観察シート 作品鑑賞シート	古典観察シート 作品 鑑賞シート 振り返りシート
		篆書 ・泰山刻石の鑑賞と臨書 ・自分の名前調べ(篆書体)	a:・篆書の書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、古典の基本的な用筆・運筆、字形の構成等の技能を身に付け、表している。 b:篆書体の特徴に即した用筆・運筆、構成を考察し、篆書のよさや美しさを感受し、個性豊かに表現できるよう工夫している。 c:篆書・篆刻の表現技法について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 古典観察シート 作品	古典観察シート 相互評価	振り返りシート 作品

	仮名の書	仮名の成立と種類 文字の造形を学ぶ ・仮名の筆使い ・平仮名 ・変体仮名 ・蓬莱切	a:仮名の成立と種類、基本的な筆使いの特徴を理解し、適した用具・用材を用いて仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付け、表している。 b:仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形について構想し工夫している。また、古筆の価値とその根拠について考え、仮名の書の良さや美しさを味わっている。 c:仮名の成立と特徴に関心をもち、主体的に表現技法を高め、表現と鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	鑑賞シート 作品	鑑賞シート 振り返りシート 作品
3学期	仮名の書	構成を学ぶ ・継色紙、寸松庵色紙、升色紙の鑑賞 ・さまざまな構成方法 古筆を生かした創作 ・平仮名、変体仮名を使用し、連綿、全体の構成の工夫	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解し、紙面構成に表している。 b:・古筆の書風や構成から創作作品の意図に沿った風趣を構想し、個性豊かに表現を工夫している。 ・三色紙や創作作品を鑑賞し、比較することでさまざまな構成のよさや美しさを味わって捉えている。 c:古筆を参考に作品の意図を構想し、主体的に表現と鑑賞の活動に取り組もうとしている。	鑑賞シート 作品	鑑賞シート 草稿作品	鑑賞シート 振り返りシート 作品

	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書についての学習 創作 ・墨色、墨量による表現の工夫 ・文字の大きさ、全体の構成の工夫 ・語句、詩歌の選定 ・草稿作成 ・作品制作 ・鑑賞会	a:用筆・運筆、字形、全体の構成による表現効果を理解し、作品の意図を明確に表現する技能を身に付け、個性豊かに表現している。 b:これまで学習した楷書、行書、仮名の書のもつ特徴を生かした構成を構想し、作品の意図を明確に表現する工夫をしている。 ・互いの作品を鑑賞し、そのよさを豊かな発想をもって味わっている。 c:文字の選定、作品の構成、完成に至る創作活動について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 鑑賞シート	ワークシート 作品 鑑賞シート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度